

所管部長等名	教育部長 北岡 博
所管課・係名	生涯学習課 第三公民館係
課長名	宮崎 和喜

評価対象年度	平成23年度
--------	--------

(Plan) 事務事業の計画

事務事業名	二見自然の森事業	「主なる事業の執行状況調」における件名又は事業名	青少年体験活動事業
会計区分	一般会計		
予算の事業名	二見自然の森管理費		
事業コード(大-中-小)	39	06	01
施策の体系 (八代市総合計画の実施計画における位置づけ)	基本目標(章)	第2章 郷土を拓く人を育むまち	
	施策の大綱(節)【政策】	②生涯を通じた学びのまちづくり	
	施策の展開(項)【施策】	①生涯学習社会の構築	
	具体的な施策と内容	(2)生涯学習施設の整備	
根拠法令、要綱等	八代市二見自然の森条例、八代市二見自然の森条例施行規則		
実施手法 (該当欄を●)	<input type="radio"/> 全部直営 ● 一部委託 <input type="radio"/> 全部委託 <input type="radio"/> その他()	法令による実施義務 (該当欄を●)	<input type="radio"/> 義務である <input checked="" type="radio"/> 義務ではない
事業期間	開始年度	合併前	終了年度 平成24年度

(Do) 事務事業の実施

事務事業の概要	目的	対象(誰・何を) 二見自然の森の施設及び管理業務	成果目標(どのような効果をもたらしたいのか) 市民の自発的な諸活動の場や市民交流の場を提供する施設として、また、自然に親しみながら野外活動を体験する場として利用し、生涯学習につながる主体的な諸活動が期待できる。
	内容 (手段、手法等)	家庭や学校の外で、児童から青年、成人、高齢者に至るまですべての年齢の人が、学習や研修、スポーツや趣味に興じたり、楽しむ機会を提供されることが出来る生涯学習のための施設として、管理・保守・点検を進め市民のよりよい利用に供する。	
事業開始時点からこれまでの状況変化等	宮地の教育キャンプ村から現在の二見に移り教育キャンプ村を継続していたが、平成9年度用地を宮林省から購入し、平成16年度整備を完了し、「二見自然の森」としてオープンし現在に至っている。 平成23年度の事業仕分において、費用対効果が見込まれないとの理由から廃止の意見を受け、市の対応方針として、平成24年度をもって廃止するとしている。		

コスト・成果指標の推移

		単位	22年度決算	23年度決算	24年度予算	25年度見込	26年度見込	27年度見込		
コスト	総事業費	千円	1,677	1,756	1,752	-	-	-		
	事業費(直接経費)	千円	1,677	1,756	1,752	-	-	-		
	財源内訳	国・県支出金	千円							
		使用料・手数料	千円	161	160	130				
		市債	千円							
		その他()	千円							
	一般財源	千円	1,516	1,596	1,622					
概算人件費(正規職員)	千円	875	875	875	-	-	-			
正規職員	従事者数	人	0.13	0.13	0.13					
	臨時職員等従事者数	人								
(もたらそうとする効果の数値化)	指標名	指標設定の考え方	単位	22年度実績	23年度実績	24年度見込	25年度計画	26年度計画	27年度計画	
	①	利用者数	施設を利用する人数により、市民ニーズに応えられる施設かの指標となる	人	276	413	450	0	0	0
	②	使用料収入	使用料収入とコストを比較することにより費用対効果の指標となる	千円	115	144	150	0	0	0
(記述欄)※数値化できない場合										

(Check) 事務事業の自己評価

事業実施の 妥当性	①	【計画上の位置付け】 事業の目的が上位政策・施策に結び つきますか	A 結びつく B 一部結びつく C 結びつかない	A B C A B A	(現状分析等) これまで、生涯学習課主催で、教育キャンプの事業を行っている が、毎年定員をはるかに超える申し込みがあり抽選で参加者を決定 している状況で、教育の成果は達成できているものとする。 しかし、市民のよりよい野外活動の場に供する目的からすると、ア クセスの悪さや昨今の市民ニーズに応えられていない施設であるこ とから、オープン以来500名以下の利用者数にとどまっている。
	②	【市民ニーズ等の状況】 市民ニーズや社会状況の変化によ り、事業の役割が薄れていませんか	A 薄れていない B 少し薄れている C 薄れている		
	③	【市が関与する必要性】 市が事業主体であることは妥当 ですか(国・県・民間と競合していませ んか)	A 妥当である B あまり妥当でない C 妥当でない		
活動内容の 有効性	①	【事業の達成状況】 成果目標の達成状況は順調に推移し ていますか	A 順調である B あまり順調ではない C 順調ではない	B B	(現状分析等) 施設維持管理については、草刈、樹木剪定、トイレ清掃など善良な 管理を行っている。 オープン当初に比べ、植樹やテントなどの配備により、木陰も増 え、自然の森の態をなしてきているが、水場や施設周辺に活動の場 がないこと、道路アクセスの整備に相当の費用がかかることなどか ら、施設の改善はこれ以上見込めない。
	②	【事業内容の見直し】 成果を向上させるため、事業内容を見 直す余地はありますか	A 見直しの余地はない B 検討の余地あり C 見直すべき		
実施方法の 効率性	①	【民間委託等】 民間委託、指定管理者制度の導入な どにより、成果を下げずにコストを削 減することは可能ですか	A できない B 検討の余地あり C 可能である	A A A A	(現状分析等) 上記のとおり、施設の改善が図られない限り、施設の維持管理に ついては現状維持しかない。
	②	【他事業との統合・連携】 目的や形態が類似・関連する事業と の統合・連携によりコストの削減は可 能ですか	A できない B 検討の余地あり C 可能である		
	③	【人件費の見直し】 非常勤職員等による対応その他の方 法により、人件費の削減は可能です か	A できない B 検討の余地あり C 可能である		
	④	【受益者負担の適正化】 受益者負担に見直しの余地はありま すか(引上げ・引下げ・新たな負担・廃 止)	A 見直しの余地はない B 検討の余地あり C 見直すべき		

(Action) 事務事業の方向性と改革改善

今後の方向性 (該当欄を●)	● 不要(廃止) ○ 民間実施 ○ 市による(民間委託の拡大・市民等との協働等) ○ 市による実施(要改善) ○ 市による実施(現行どおり) ○ 市による実施(規模拡充)	(今後の方向性の理由) 事業仕分けの意見に対する市の対応方針に基づき、「二見自然の森」としての事業は平成24 年度をもって廃止とする。 今後、地元地域住民の意見を参考に施設の利活用を、全庁的に検討していく。

改革改善内容	今後の改革改善の取組と、もたらそうとする効果		改革改善による期待成果																								
			<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <td align="center" colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td align="center">削減</td> <td align="center">維持</td> <td align="center">増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td align="center">向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td align="center">維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td align="center">低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>					コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下		
		コスト																									
		削減	維持	増加																							
成果	向上																										
	維持																										
	低下																										

外部評価の実施	有：外部評価(市民事業仕分け)	実施年度	平成23年度
---------	-----------------	------	--------

決算審査特別 委員会における 意見等	(委員からの意見等)
--------------------------	------------